

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	114 -	事業名	下水道事業・建設改良事業			担当部課	建設部下水道課	
基本情報	第5次総合計画・基本方針	✓ リニモでにぎわい交流するまち	会計 区分	下水道事業会計・資本的支出 予算区分(款 - 項 - 目)				
	まちづくり行程表・フラッグ	—						
	第6次総合計画・基本目標	✓ あえて歩いてみたくなるまち	01-01 建設改良費					
	法定受託事務の有無	—						
	その他(関係計画、要綱等)	✓	下水道法、都市計画法					
事業開始の背景、経緯等	社会基盤の整備による人口増加に伴い、早急に下水道整備を行う必要から、平成2年度より、長久手市公共下水道事業に着手した。							
事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) ①長久手市公共下水道事業計画区域882haを計画的に整備を行う。 ②長久手浄化センターを計画的に改築する。						
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 長久手市公共下水道事業計画区域						
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 計画的に下水道を整備することにより、生活排水などによる河川などの汚れを防ぎ、清潔で快適なまちにする。						
	事業を構成する事務事業(B票)	① 管路建設改良事業	拡充	④				
	② 処理場建設改良事業	拡充	⑤					
	③		⑥					
コスト推移	項目	単位	区分	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)
	事業費(A)	千円	予算	/	/	/	604,709	842,752
			決算	/	/	/	389,431	
	人件費(B)	千円	決算	/	/	/	20,160	
	総コスト(A)+(B)	千円	決算	/	/	/	409,591	
成果推移	成果指標	単位	区分	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)
	A 整備率(管渠)	%	目標	79.3	82.0	84.2	85.0	86.2
			実績	81.0	82.6	84.2	85.5	
	B 事業費(処理場)	千円	目標	/	/	/	234,000	499,832
			実績	/	/	/	117,264	
	C		目標	/	/	/		
			実績	/	/	/		
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A 長久手市公共下水道事業計画区域の面積に対する整備率を成果目標とする。								
B 長久手浄化センターの高度処理完了年度(H39年度)までの事業予定金額を成果目標とする。								
C								
環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 平成30年4月より地方公営企業法適用。						
評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 平成29年度末の整備率は85%であり、目標を達成している。						
	過去5年間の振り返り	(過去5年間の事業の進捗状況、改善状況などの振り返り) ①管路建設改良工事については、計画的に整備を進めてきた。 ②処理場建設改良事業については、平成31年度より行政評価対象となった。						
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 下水道整備に伴う財源の確保が課題となる。						
今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 汚水管渠の整備については、市街化区域の整備が概ね完了した。今後は、より多くの市民の生活環境向上のため、市街化調整区域を中心に計画的に整備を進めていく。						
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 平成34年度までに、公共下水管渠整備率を94%にする。 平成39年度までに、長久手浄化センターの高度処理を完了する。						

内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当による意見	・令和元年度からは、第6次長久手市総合計画の基本構想・基本計画を踏まえて、事業を進めてください。
------	-------------------------	--

長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

事業(A票)名	下水道事業・建設改良事業		担当部課	建設部下水道課	決算書ページ	—
事務事業名	①	管路建設改良事業	予算区分	01-01 建設改良費		
事務事業の期間	事務事業開始年度	平成2年度	終了(予定)年度	平成35年度		

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 長久手市公共下水道事業計画区域を対象に、汚水管渠の整備を計画的に進めていく。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 公衆衛生の向上と、公共用水域の水質保全を目的とする。

2. コスト推移

項目	単位	区分	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)
事業費	千円	予算	349,778	392,465	356,719	370,709	342,920
		決算	188,809	241,414	140,735	272,167	
<備考：事業費の主な内訳(30年度(2018))>							
(1) 公共下水道築造工事						180,914 千円	
(2) 取付管設置工事						44,818 千円	
(3) 公共汚水ます設置工事						5,375 千円	

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)
整備率	%	見込	82.0	84.2	85.0	85.8	86.2
		実績	82.6	84.2	85.0	85.5	
		見込					
		実績					
<備考：活動の概要(30年度(2018))>							
・汚水管渠布設 2, 232m							
・取付管設置工事 121箇所							
・公共汚水ます設置工事 78箇所							

4. 事務事業を取り巻く環境変化

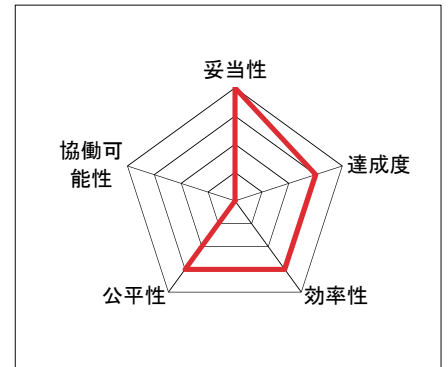
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 平成30年4月より地方公営企業法適用。

5. 前年度からの改善状況

(1) 財政状況
(前年度【予算額】) (今年度【予算額】) (増減額)
370,709 千円 342,920 千円 △ 27,789 千円
(2) 前年度の評価状況《参考》
・前年度【今後の方向性】 ※新規行政評価対象
・前年度【コメント】
※新規行政評価対象
(3) 改善状況
(何をどのような状態に改善したのか) 公営企業法の適用により、建設改良費の繰越工事が可能になったことから、年度末の取付管工事の申請を受理し、工事を繰越で発注することにより、市民ニーズに対応した。

6. 評価

項目	評価
妥当性	4
達成度	3
効率性	3
公平性	3
協働可能性	—



【協働可能性について】

(1) 市民参加の延べ人数(人)				
区分	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)
見込				
実績				
(2) 協働の状況(30年度(2018))				
(協働で取り組んだこと、評価できない理由など)				
—				

【活動エピソード】

(活動のエピソード、コメント、特記事項など)
—

【改善ポイント】

(改善が必要なこと、改善の方法など)
—

7. 今後の方向性

拡充

長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

事業(A票)名	下水道事業・建設改良事業		担当部課	建設部下水道課	決算書ページ	—
事務事業名	②	処理場建設改良事業	予算区分	01-01 建設改良費		
事務事業の期間	事務事業開始年度	平成26年度	終了(予定)年度	平成39年度		

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 対象となる長久手市公共下水道事業計画区域内の汚水を適切に処理し、有事の際も適切に処理できる体制を確保する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 公衆衛生の向上と、公共用水域の水質保全を目的とする。

2. コスト推移

項目	単位	区分	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)
事業費	千円	予算 決算				234,000 117,264	499,832
<備考：事業費の主な内訳（30年度(2018)）> (1) 浄化センター実施設計委託 77,720 千円 (2) 浄化センター建設工事（電気設備） 34,468 千円 (3) 千円							

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)
事業費	千円	見込 実績				234,000 117,264	499,832
<備考：活動の概要（30年度(2018)）> 浄化センター実施設計委託 一式 浄化センター建設工事（電気設備） 一式							

4. 事務事業を取り巻く環境変化

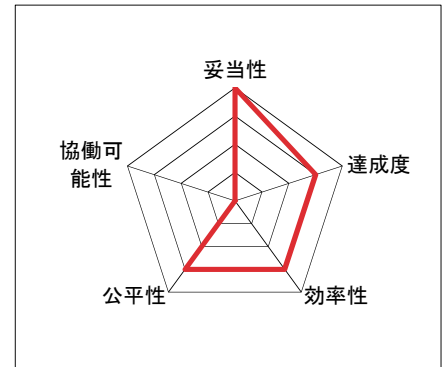
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 平成30年4月より地方公営企業法適用。

5. 前年度からの改善状況

(1) 財政状況
(前年度【予算額】) (今年度【予算額】) (増減額)
234,000 千円 499,832 千円 265,832 千円
(2) 前年度の評価状況《参考》
・前年度【今後の方向性】 ※新規行政評価対象
・前年度【コメント】
—
(3) 改善状況
(何をどのような状態に改善したのか)
※新規行政評価対象

6. 評価

項目	評価
妥当性	4
達成度	3
効率性	3
公平性	3
協働可能性	—



【協働可能性について】

(1) 市民参加の延べ人数（人）				
区分	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)
見込 実績				
(2) 協働の状況（30年度(2018)）				
(協働で取り組んだこと、評価できない理由など)				
—				

【活動エピソード】

(活動のエピソード、コメント、特記事項など)
—

【改善ポイント】

(改善が必要なこと、改善の方法など)
—

7. 今後の方向性

拡充